

令和6年度 地域支援・地域活動協議会の支援・取組事例(回答)

区名	阿倍野区
地域活動協議会の自律に向けたまちづくりセンター等の取組事例(箇条書きで可) 「様式1 取組状態・自律度の状況把握シート」の基本項目で令和5年度期末と比較して向上し、OAとなったものについて、各区が各地域活動協議会の自律を進めるための支援として、まちづくりセンター等の取組により自律につながった事例をご回答ください。 ・金塚地域の「④話し合いにより補助金が適切に活用されている」について、補助金の使い方についてより民主的な話し合いを重ね、事業の見直しを行った。また、こども部会の事業を桃山学院大学と連携し、ゼミ生と一緒に子ども向けイベントを企画することとなった。	
まちづくりセンター等による新たな取組事例(箇条書きで可) 上記のほか、令和6年度に新たに実施したまちづくりセンター等による取組がありましたら、ご回答ください。 ・新たな担い手確保のため、ポスター掲示、SNSを通じてボランティア登録制度を開始し、ボランティア募集を積極的に行った。登録していただいたボランティアを、実際に各地域のイベントへと派遣した ・広報ほっとカフェを通じて、地域の構成団体のInstagram立ち上げを支援することで、地域活動協力金議会の広報にもつなげた。 ・「多様な媒体による広報活動」の充実を目的に、広報誌の内容についてまちづくりセンターより提案を行い、行事予定などを盛り込んだより魅力的な内容の広報の支援を行い、Facebookの更新などにもつなげた。	
実施主体に関わらず他区・他地域に共有できる好事例(箇条書きで可) 区役所、まちづくりセンター、地域等の実施主体に関わらず、上記項目以外で他区・他地域に共有できる支援、取組がありましたら、ご回答ください。(実施主体名と内容を記載してください) ・まちづくりセンターが実施した「あべのほっとカフェ防災編」は、明浄学院高等学校の協力を得て、同校を会場として実施することとなった。この連携を経て、同校が位置する文の里地域とつながり、まちなか防災訓練を初めて同校体育館で実施した。当日は同校の学生7名が自主的にボランティア従事し、地域がボランティア証明書を発行するなど、双方ともにボランティアの大切さを見出すことができた。	